

地歴公民 (地理B) 九州大学 文学部

<全体分析>

試験時間 90分

解答形式
論述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

大問は2問構成。解答数は、論述式6問 (220字×1, 200字×1, 180字×2, 150字×1, 100字×1) 論述式の問題数は変わらなかったが、選択式が出題されなかった。論述式が1030字と分量が多いため、設問の意図把握、文章校正力などでスピードを要求される。

その他トピックス

例年必ず出題されていた選択式問題がなくなり、すべて論述式の出題であった。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1]	論述式 (200字×1・180字×1, 100字×1)	洪水と水害	シベリアを流れるレナ川流域において春季に洪水が発生する理由を述べさせる論述問題, 都市型水害の特徴と日本における対策の具体例について述べさせる論述問題, 東南アジアにおける自動車産業の特徴とタイの洪水 (2011年) による影響について述べさせる論述問題が出題された。	標準
[2]	論述式 (220字×1・180字×1, 150字×1)	西アジア・中央アジア地誌	西アジア・中央アジアの伝統的生業活動の特徴について述べさせる論述問題, 1970年代以降のサウジアラビアにおける農業生産の変化とその背景について述べさせる論述問題, アラル海の自然環境の特徴・縮小の背景・周辺の地域社会や経済などに与えた影響について述べさせる論述問題が出題された。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

教科書に記載されている地理的な知識・理論を正確に理解し、自然的要因や歴史的背景、社会的背景についても正確に理解しておく必要がある。難問はなく教科書をしっかりと学習し、理解を深めておけば十分に解答できる。論述字数が長めだが、多岐にわたる内容を問われるため、論述すべきポイントをコンパクトにまとめる必要がある。迅速に出題の意図を読み取る力と長めの文章を構成する力を日頃から鍛えておきたい。